

# ひととマンガの近しさとは

## 京都国際マンガミュージアム開館

関西元気文化圏に新たな仲間が加わりました。日本初のマンガのミュージアムです。11月にオープンした施設の「文化力」についてご紹介します。

### 思い出とマンガ

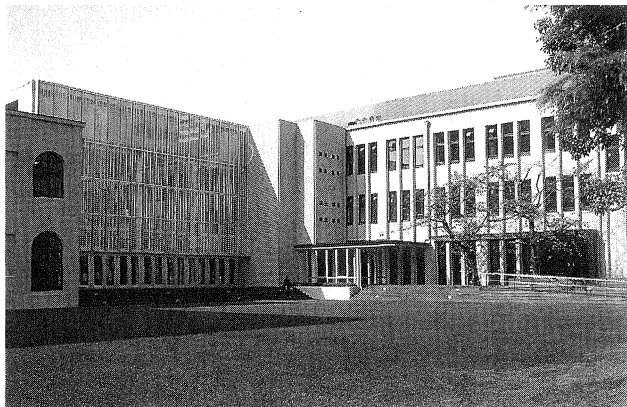
1960年代、大学生が熱心にマンガを読むようになったと騒がれた時代があります。そのころの青年たちもいまや定年退職を控える年代となりましたが、今もマンガを楽しんでいる方が少なくないといわれます。この年代の方に限らず、マンガとともに成長し、人生の節目節目の思い出がマンガとともに思い出される人は決して少なくないでしょう。

### 生活の中のマンガ

マンガは、私たちの生活にとっても近い存在です。キオスクで、コンビニで、喫茶店や飲食店で、マンガは私たちの身の回りに空気のようにあふれ、習慣のようにならげなく手に取り、読むことができます。受験勉強にいそんでいたあのころ、息抜きにコンビニで読んだのはあのマンガだった。入社式を控え、晴れがましい気分で行ったとき読んだのはあのマンガだった……。そんなふうに、人生の一場面をマンガとの出会いとともに思い起こすことができるのは、マンガの身近さゆえでしょう。

### ミュージアムのマンガたち

「京都国際マンガミュージアム」(京都市営地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅下車)は20万点に及ぶマンガ資料を収蔵しています。各方面からのご



京都国際マンガミュージアム



国内外からのさまざまなマンガ資料を収蔵

寄贈の賜物ですが、出版社や博物館だけでなく個人の方からちょうだいしたものも少なくありません。個人の方からご寄贈のお申し出があると、なるべく直接お会いし、資料を拝見したうえでちょうだいすることにしています。当館で有効に活用できるものかどうかの判断のためでもあります。ご本人にお話をうかがうのが楽しいからでもあります。

### 収蔵品に込められた思い

日本と中国の文化交流に尽くしてこられた方から中国のマンガを、手塚治虫にあこがれてマンガ家を目指しておられた方から手塚のマンガを……。ご本人にお会いしたうえでご寄贈を受けると、一つひとつにご寄贈者の思いが宿っていることがあらためて実感されます。とても身近だからこそ、人々のさまざまな思いとともにマンガはあります。新しくそのマンガに出会うだれかにその思いを伝える、それもマンガミュージアムの重要な役目だと考えています。

京都国際マンガミュージアムは、廃校となった小学校を改築した興味深い装いです。また、京都の中心部に位置しています。京都にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

(京都国際マンガミュージアム研究員 表 智之)